

令和元年度 善行賞表彰者一覧

福島県高等学校PTA連合会 健全育成委員会

No.	学 校 名	氏名(学年)・団体名	理 由
1	福島南高等学校	菊地真由子 (1年)	福島県復興大使として、福島県の魅力や震災から回復しつつある現状を県外に伝えた。また、地域が抱える課題にどう取り組んでいるかを学び、本県の復興に役立つ情報を共有した。東京都足立区では、健康寿命を延ばすため、野菜を食べる習慣をつくれるよう飲食店やイベントで区民と協力した。葛飾区では、地域限定の商品を開発して観光客を集客し、コミュニケーションを大切にすることで地域の発展に繋げようとした。
2	川俣高等学校	家庭クラブ JRC同好会	川俣町主催の「川俣町健康づくり大運動会」や「伝統芸能祭」などの行事や町内、近隣の老人福祉施設において、「デイサービスカフェ」や「夏祭り」などのボランティア活動を継続的に取り組んだ。
3	梁川高等学校	梁川高等学校	台風19号による川の氾濫で甚大な被害を受けた梁川町内において、全校生徒と教職員120名が10月16～17日、災害ボランティアに参加した。クラスごとに被災した施設や民家に行き、家財の搬出、泥のかき出しと洗浄、ゴミの運搬などを行った。被害の報道がなく、平日のボランティアはほとんどいなかったため助けを求める声が高く、一日の予定を延ばして行った。
4	本宮高等学校	本宮高等学校	生徒会と生徒有志の計300名は、台風19号に伴う水害で被災した市街地でボランティア活動に取り組んだ。被災をした生徒などを除く生徒総出で、休校の際に数日間取り組み、住民の方々に深く感謝を受けた。
5	安積黎明高等学校	女子バレーボール部	台風19号が大きな影響を与えた際、何か自分たちにできることはないかと考え、遠征試合を中止して、ボランティア活動に急行した。雨中にもかかわらず、郡山市若葉町周辺の汚泥を撤去し、地域住民に感謝をされた。
6	郡山東高等学校	サッカー部(37名) 女子バレーボール部 (23名)	台風19号の影響により浸水した家屋の清掃・荷物の搬出ボランティア活動を行った。郡山市内とそれぞれの部員の出身地区で行った。
7	郡山北工業高等学校	ラグビー部	台風19号により浸水した生徒宅の手伝いをきっかけに、郡山市内でも特に被害の大きかった地区において道路の泥の片付けなど復旧作業に尽力した。
8	清陵情報高等学校	電子機械科課題研究 「空飛ぶ車いす」班	工業高校生が中心となって、「車いす」が不足しているアジア諸国の子供や高齢者に届ける「アジアに届け！空飛ぶ車いす」ボランティアリレー活動に参加。老人ホーム等の施設で不要になった車いすを譲り受け、部品の洗浄、ノーパンクタイヤへの交換、ブレーキ点検、ベアリングの洗浄とオイル差し、部品の錆取り等のメンテナンスを行い、10台の「車いす」を修理・整備して主催する協会に届けた。また、9月28日には近隣の特別養護老人ホームに7台の「車いす」の修理・整備に行き、タイヤのパンク修理、錆落とし、ベアリングの洗浄・油差し等を行った。職員の方々から感謝の言葉をいただくとともに、現在でもその車いすはしっかりと役目を果たしている。
9	清陵情報高等学校	三瓶 翔 (1年)	台風19号災害の際、10月13日～15日にかけて、避難所(須賀川市武道館、東公民館、須賀川二中、浜田公民館)などを訪れ、がれき撤去や館内清掃、高齢者対応や受付補助、配給やごはん作りの手伝いなどのボランティアに参加し、被災者支援活動を行った。また11月9日には、須賀川市災害ボランティアセンターでのボランティアに参加し、須賀川市内において台風19号被害における被災者支援活動を行った。

No.	学 校 名	氏名(学年)・団体名	理 由
10	清陵情報高等学校	藤村 光 (1年)	台風19号災害の際、自宅マンションが被災(浸水)し、エレベーターを使用することが出来なくなった。そのため、同じマンションの6階に住む高齢者のために水を運び、感謝された。
11	光南高等学校	会田 彩 (1年) 岩崎 麻衣 (1年) 円谷 彩香 (1年)	令和元年7月10日朝、自転車で転倒していた体調不良の成人女性に声をかけた。その後、女性の肩を支え、荷物を持ち、自転車を押して自宅まで付き添った。
12	光南高等学校	渡辺 晴人 (3年)	令和元年11月5日の下校途中、小学生が自転車で転倒し、泣いているところを発見。児童が通学している小学校に電話をかけて、その学校の教員が到着するまですりむいた所を絆創膏で手当てをし、児童に付き添って待機していた。
13	修明高等学校	野球部	浅川町において、台風19号の豪雨災害に伴うボランティア活動を行った。被災者の方々への支援活動を行い被災地の復興支援の一端を担った。
14	田村高等学校	野球部 3学年有志	台風19号による川の氾濫で浸水被害を受けた郡山市中央工業団地で、部活動の支援をいただいている企業の清掃等の復旧活動を、顧問教員や保護者ととともに部員全員で行った。 また、浸水被害を受けた地域の施設等にも出向き、復旧作業などを手伝った。
15	会津工業高等学校	小泉 貴弘 (3年) 近藤 克哉 (3年) 須佐 鷹秋 (3年) 高橋 弘樹 (3年) 橘 知輝 (3年) 生江 弥栄 (3年) 長谷川真咲 (3年) 矢沢 麗果 (3年)	社会福祉法人会津若松市社会福祉協議会主催による災害支援ボランティア活動(令和元年11月2日～3日)に参加し、台風により被害を受けた郡山・本宮市内の家財や泥の撤去、家屋や側溝の清掃など地域の復旧、復興に尽力した。
16	喜多方高等学校	野球部(1・2・3年生)15名	北宮諏訪神社(8月3日)御輿渡御祭における奉仕活動。北宮諏訪神社例大祭において、装束を着装し、御輿を担ぎ、御輿を先導し喜多方市内を練り歩いた。例年行っており、猛暑の中地域のために頑張っている。
17	喜多方高等学校	吹奏楽委員会	毎年3月に、喜多方市内の救護施設しのめ荘において利用者の方々にボランティアで慰問演奏を行っている。
18	喜多方高等学校	眞部 亮凱 (3年)	列車の中で痴漢行為を受けている女子生徒を助け、警察に通報し犯人の逮捕に貢献した。(2年次)
19	喜多方東高等学校	家庭クラブ	喜多方市の障害福祉基本理念「共に支え合い、だれもが安心して暮らせる地域社会の実現」に賛同し、障害者と地域住民をつなぐ架け橋運動に取り組んでいる。盲導犬ユーザーの話を聞く会の開催、手話学習グッズ製作、ヘルプマークの普及や視覚・聴覚障害者の支援方法を発信するポスターやリーフレットを作成し、市役所、社会福祉協議会などで掲示・配布し、喜多方市のバリアフリー化に貢献している。
20	喜多方東高等学校	生徒会	喜多方市のスーパーマーケット店頭で、県議選前のキャンペーン活動として、一般の方や高校生に対して投票の呼びかけを行った。また、本校の家庭クラブと合同で、赤い羽根共同募金の募金活動を行った。また、喜多方市内のスーパーマーケット店頭で、台風19号の災害募金活動を行った。
21	猪苗代高等学校	村尾 碧 (3年)	ウォールアートフェスティバルふくしまin猪苗代実行委員会主催の猪苗代町を活性化するイベント「ウォールアートフェスティバル」に、高校生として唯一人参加し、開催を支援した。ボランティアとしても参加し、猪苗代町の活性化に努めた。さらに、猪苗代町を活性化したいという意図から高校生でもできる活動としてインスタグラムで猪苗代町の魅力ある情報を発信している。

No.	学 校 名	氏名(学年)・団体名	理 由
22	会津農林高等学校	渡部 史照 (2年)	販売実習で会津坂下町内を歩いた際、交通量の多い幹線道路の横断歩道のない道路中央付近で動けなくなっていた老女の安全を確保しながら歩道まで背負って避難させた。
23	只見高等学校	三宅実美 (1年) 沼田彩希 (1年)	令和元年7月6日午後3時ころ、只見川町下橋付近でおぼれて川に流されている成年男女2名(夫妻)を発見した。川岸では女性と子ども4人がおり、慌てている女性から代わりに警察に連絡してほしいと頼まれたので連絡し、流される成年男女2名(夫妻)が警察と消防に救出されるまで子ども4人を連れて追跡した。
24	磐城高等学校	生徒会 ボランティア委員会 野球部 ラグビー部	台風19号で被害の大きかったいわき市赤井地区や平窪地区、好間地区で片付けや泥の掃き出し、その他清掃や荷物搬送作業を手伝うなど、ボランティア活動を行った。
25	磐城桜が丘高等学校	磐城桜が丘高等学校	台風19号の際、被害が大きかったいわき市好間地区へ出向き、土砂のかき出しなどの手伝いを行い、当事者から学校へお礼の連絡を頂いた。
26	平工業高等学校	木村 光寿 (2年) 杉山 巧 (2年)	平成31年3月24日午前7時頃、いわき市平南土の歩道橋下でバイクが転倒し、運転をしていた男性が負傷した。そこに居合わせた木村が大丈夫かと声をかけ、顔や膝から出血していたため救急車を呼んだ。そこへ杉山が通りかかり、持っていたタオルを渡して止血をし、救急車を待ち、男性が搬送されるまで二人で寄り添った。
27	平工業高等学校	平工業高等学校	10月15日～22日の休校期間に、大雨災害に見舞われたいわき市平窪地区、好間地区などにおいて、個人宅や側溝等を中心に荷物搬出や清掃のお手伝いをした。部活動単位やSNSを活用した呼びかけに賛同した生徒80名程がボランティアに参加した。
28	いわき総合高等学校	星 愛莉 (2年) 高木健吾 (2年)	平成31年4月22日7時40分、いわき市内郷綴町榎下地内の十字路で、軽トラックと歩行者の接触事故があり、歩行者の女性があおむけに倒れ、頭部も地面に打ち付けた。生徒は「大丈夫ですか」などと声をかけ、その後、119番、110番通報を行った。救急車が現場に到着し、救急隊員が対応に当たる間、星は通報者として、救急隊員に状況などを説明し、その後の現場検証にも立ち会うなど、迅速かつ的確な対応を行った。
29	いわき総合高等学校	岡田 留実 (2年) 佐久間未来 (2年) 西澤真澄美 (2年) 河野 陽菜 (1年) 川村 茉央 (1年)	6月28日午後4時50分頃、内郷駅の線路に架かる歩道橋で40代の女性がせき込んでいた。その様子に岡田、佐久間、西澤が気づいて「大丈夫ですか?」と声をかけたが、女性はせきが止まらず座り込んだ。3人が介抱しているところへ通りかかった河野、川村及び一般男性1名も介護に加わったが、当該女性の状態は良くならず、救急車を要請、その後救急搬送されるまで介抱を続けた。
30	湯本高等学校	湯本高等学校	台風19号や10月25日の豪雨災害の後、ボランティアセンターを活用するなどして、生徒がそれぞれ積極的に集まり、被災地域の家庭を訪問し、水に浸かった家具の運び出しなどの作業を、長期間にわたって行った。
31	いわき海星高等学校	坪井朱理 (3年) 齋藤和哉 (3年) 佐々木龍也 (3年)	入学時より、いわき市の伝統芸能「じゃんがら念仏踊り」を継承するチーム「じゃんがら」に所属し、震災後の地元復興と鎮魂、風評被害払拭および伝統芸能の継承のため、3年間「じゃんがら念仏踊り」を披露してきた。また、老人ホームや介護施設などにおいても「じゃんがら念仏踊り」を披露し、活発にボランティア活動を展開し社会貢献に努めた。

No.	学 校 名	氏名(学年)・団体名	理 由
32	磐城農業高等学校	後藤彩乃 (1年)	10月中旬の18時頃、遠野高校3年在学の姉と1年の友人と一緒に白水阿弥陀堂の近くを歩いていたところ、杖をついたおじいさんが血を流して倒れていたため、3人で協力して救助し、おじいさんの自宅まで連れて帰った。本人は大丈夫だと話していたが、体調が優れないようであったため、救急車を呼んで隊員に対応を依頼した。
33	いわき翠の杜高等学校	高木清継 (4年) 吉原 望 (4年) 酒井愛果 (2年) 松崎美咲 (2年) 山口 藍 (2年)	台風19号の災害ボランティアに継続的に参加し、地元(好間・平窪・赤井・小川地区)の復興に貢献した。
34	ふたば未来学園中学校 ふたば未来学園高等学校	ふたば未来学園中学校 ふたば未来学園高等学校	災害発生翌日の10月13日以降、自主的なボランティア活動に取り組む生徒の輪が広がり、学校としてのボランティア活動の実施につながった。 16日に生徒16名と教員3名の合計19名、17日に生徒24名と教員3名の合計27名が、いわき市平窪地区においてボランティア活動に従事する団体の指揮下、浸水家屋及び周辺の清掃、片付け、ゴミの運搬等を行った。 その他、多数の生徒が個人的かつ継続的に同様のボランティア活動に従事した。
35	相馬高等学校	大越達也 (2年)	帰宅途中に徘徊している老人を発見・保護した。老人の様子に不自然さを感じ、警察へ連絡を行った。警察が到着するまでの間、会話をし引き留め、無事、老人は家族のもとへ戻る事ができた。
36	相馬高等学校	バスケットボール部	台風19号およびその後の大雨により、相馬市内でも浸水被害等が発生した。その影響で相馬駅前の通りに大量の泥土があることを見た部員達が、放課後に自主的に片付け作業を行い、地域の住民から感謝された。
37	相馬農業高等学校	学友会	台風・大雨災害時に被害を受けた方々に何かできないかと、学友会の生徒が中心となって募金活動をした。学友会の生徒が全校生や教職員に募金を呼びかけた。集まった支援金は、甚大な被害のあった相馬東高校へ贈った。
38	小高産業技術高等学校	草野泰輝 (2年)	年間を通じて、被災支援ボランティア団体「おたがいさまプロジェクト」のメンバーとして岡山県倉敷市真備町や神戸などに赴き、写真洗浄活動や子どもたちへの支援活動、防災セミナーなどを積極的に行っている。その他、県内、宮城、埼玉、東京など全国各地で様々なボランティア活動に参加している。
39	小高産業技術高等学校	菊地 凛 (2年)	海外ボランティア派遣NGO「ボランティアプラットフォーム」を介し、カンボジアで現地の子どもたちに日本語・英語を教えるボランティア活動を行った。また、3泊4日お世話になったホームステイ先でも、積極的に家事手伝いの仕事をするなどし、国境を越えて交流を深めた。
40	小高産業技術高等学校	高橋優菜 (1年) 青田沙理奈 (1年)	令和元年12月12日朝、南相馬市鹿島区内で自転車同士が衝突する事故があり、自転車に乗っていた年配の女性が転倒。偶然居合わせた青田が駆け寄り介抱し、直後に現場に通じかかった高橋が救急車を呼んだ。